スポーツニュース！

①＝1位②＝2位③＝3位

第7回香美市体育大会結果

◆**ゲートボール**

■9月29日　秦山公園ゲートボール場

①東邦B②香北③東邦A

◆**弓道**

■10月6日　山田高校弓道場

・高校生以下　①山本恭加②公文崇人③永野真奈美（以上、山田高校）

■10月8日　時久道場

・個人5段以上　①岡本明弘②山崎正臣③川越一彦（以上、県弓道連盟山田支部）

・個人4段以下　①嶋川翔太②薮内友真（以上、高知工科大学）③圓山豊（県弓道連盟幡多支部）

◆**ソフトボール**

■10月7日　市民グラウンド

①焼肉ソウル②植田クラブ③壮年クラブ

◆**バレーボール(男子6人制)**

■10月14日　鏡野中学校体育館

①チームK②香美市役所③土佐山田クラブ

◆**バレーボール(女子9人制)**

■10月21日　香北体育センター

①山田ママ②山田体育会③大栃ママ

◆**卓球**

■10月14日　香北体育センター

・団体（男子）①高知工科大学②高知工科大学（女子）③香北A③土佐山田クラブ

・個人1部　①福島舞子②宮本卓也③古川佳弘③兼子瞭介（以上、高知工科大学）

・個人2部　①西山正義（鏡野中）②南場忠志（香北）③岡林京佑③西森祐馬（以上、鏡野中）

◆**バドミントン**

■10月14日　高知工科大学体育館

・団体1部　①チーム中西②山コーチ③山田A

・団体2部　①まぐろB②パッチワーク③たまひよわんみにっつA

◆**ソフトテニス**

■10月14日　高知工科大学テニスコート

・男子ダブルス（2部）①形見浤三・乾国倍②寺石文雄・塩田住夫③北村實三男・山崎修（以上、土佐山田テニスクラブ）

・女子ダブルス　①山中麻央・堀川理恵②濱崎瑞紀・山中ゆかり（以上、土佐山田クラブ）③町田菜々子・門脇奈穂（鏡野中）

◆**ペタンク（ダブルス）**

■11月11日　香北総合型競技施設

①アミーゴ②ロベルト食堂③香北リアン

ペタンク

第7回香美市ナイターペタンクリーグ

■9月24日～10月12日　香北総合型競技施設

①楽虎会②白三会③ダムズドボク

吉井勇記念館だより

季節の展示のお知らせ

～開催中～
季節の展示 冬

吉井勇記念館では、季節の展示『冬』を開催します。冬の情感あふれる作品を展示しています。

【期間】12月5日（水）～2月25日（月）

【問い合わせ先】吉井勇記念館☎58・2220

吉井勇作品紹介　～冬～

冬日さす障子の影に仰寝して
人の伝など読むは楽しも
（歌集　天彦より）

〔解説〕勇は、昭和12年猪野々での隠せいを終え、高知市内に転居した。そこでの生活は**人生の幕間**のような、空虚な生活に感じられたものだったが、書物を乱読する中で、森鴎外著の伝記**伊沢蘭軒**に大きな感銘を受け、信念を新たにすることができたという。

翌年、勇は京都に転居し、再び中央で活躍することとなった。

伊沢蘭軒…江戸時代末期の医師・儒学者。福山藩に仕え、藩主の信頼が厚く、晩年病で足が不自由になった後も、特例として手車（人力車）で城内に出仕することを許されたという。

香美市文芸　風の流れ

◆**一般投稿作品**◆　広報委員会　選

曾孫生れ今度は稲の穂の出番　福留とものり
貫之の門出もありて菊花展　山崎　貴子
笑わない母であったか虎落笛　森本　幸美
カカシ祭り「山里のお客」一等賞　坂本美智子
青藁を選りて注連縄なう構え　岡田美代子
浦安の舞うるわしく秋祭り　北村千鶴子
朝夕におしろいの香の庭に立つ　有澤　春江
夕鵙に急かされてゐる庭手入　千頭　野草
湯上りの髪ふかれおり星月夜　森本　純喜
新米の初炊き菜は二の次に　高野　和一
柿の実の残りもいつか鳥ついばみ　小野寺朱実
西に月東に朝日天高し　三谷　誠郎
柚子匂う小さき村の人親し　上池　児末
虫の音や老夫と歩く日暮れ道　小原　子川
時化去りて仲秋の月出でにけり　楮佐古きよ
捨てるなら折らねばい丶のに彼岸花　公文多賀子

◆**韮　句　会**◆

辞書ひらく一句一字や秋燈下　公文　春紀
わけありのわけ探しつつ林檎むく　岡本かほる
通夜殿に落つ雨音やそぞろ寒　高橋　章
刈り終へて稲架並びたる棚田かな　明石ゆきゑ
営営と自作三反鰯雲　北村　幸子
晩秋の田舎へ移り住むといふ　西川　常夫
この里の氏子とならむ初しぐれ　甲藤　卓雄
龍馬像高し磯山小鳥くる　野崎　典子
朝寒や日の出待たるる長廊下　北村　里子
谷走る水音が澄みそぞろ寒　小野川順子
亡き人の噂話も薄寒し　前田　芳子
わが老後政治行く末そぞろ寒　中内ゆかり
喝采のさまに初鴨羽撃けり　竹内　ろ草

◆**かがみ野俳句会**◆

眼帯を外し引き寄す大花野　佐竹　洋子
味噌つぼに芒のそよぐ居待月　佐藤　幸
琴の音に集ひ酌み合ふ良夜かな　利根　弘子
継ぎ接ぎの人生ここに菊かほる　古川　信子
雲やさしいざよふ月へ従ひて　小松　愛子
風切って風に応へて稲雀　中澤　美晴
初耳のふりして母と十三夜　山﨑　鈴子
秋澄むや原発岬の風車かな　宮地　亀好
久々に捌く袱紗や十三夜　吉田　芳

◆**かほく俳句会**◆

鷹渡る雲低ければ雲を割り　乾　真紀子
干物屋の釣銭に照る秋日ざし　奥宮さとみ
草の実や梨の熟期の遅れをり　久保内鏡子
庭に咲く黄菊に老いの身を託す　黒岩　幸女
秋耕の鍬の重きは齢とも　黒岩千英子
「近い内に」近い内にと秋の風　小松　隆之
「文代」の峠の道や男郎花　小松　完
露草に零れし今日の空の色　小松　昇
厨の灯落しちちろに闇返す　杉山　春萌
三本の指でつるりと衣被　野村　里史
鍬洗ふうしろにつるべ落しかな　前田　欣一
子の助けあり刈り始む棚田かな　前田　秀女
堂縁を踏めば釘浮く秋旱　間崎　和代
山霧のほどける迅さまのあたり　森本　之子
緩緩と鳴きをり昼のきりぎりす　山崎かずみ
オスプレイ初飛行なる神の留守　山中　晶子
秋祭り引継ぐ民に意気感ず　山中　瑞輝
其処此処に置かれしままの秋団扇　山中　明石

◆**土佐山田町俳句会**◆

ニロギ干るいづれの露地も行き止まり　明石　韮生
菊の香をまとへる人とすれ違ふ　大石　邦男
運動会園児は走る親は撮る　笹岡　英世
道巾のかくも広がる十三夜　前田　小夜
小鳥来よ吉井勇の記念館　森田　菊恵
渋柿は枝低くするお婉堂　前田美智子
通草の実役小角の目が赤い　安丸　槇子
明月が花に見えると頬笑む娘　森田　貞男
アサギマダラの夢の百態ぶらさがる　樫谷　雅道
秋日濃し小さき花には小さき蝶　田村　一翠

今月のキラリ

柚子匂う小さき村の人親し

初冬の陽を浴びて金色に輝く柚子。柚子の香りに包まれた佇まいにも親しみを覚え、里人の人情を思うのである。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。（ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句（首）以内）

▼かい書で、住所・氏名・電話番号を必ず明記してください。

▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。

▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係

〒782－8501（住所記載不要）FAX53・5958